

# 乾徳山

草原とアルペンムードの山

実施日

二〇〇七年六月二日(土)

天候

晴れ

リーダー

涌井 良明

参加者

渡辺清、山口駿三、馬場清士、涌井良明、大村巖

費用

交通費 ホリデーパス二三〇〇円 大月(塩山九六〇円(往復)タクシー二〇八〇円 計五三四〇円

コースタイム

塩山駅(八時一三分)タクシー) 大平牧場登山口(八時五〇分)九時) 道満尾根道合流(九時三〇分)三五分) 扇平(一〇時一八分)二五分) 乾徳山頂(一一時三〇分)一二時〇五分) 下山迂回路分岐(一二時一五分) 高原ヒュッテ(一二時三五分) 一三時四五分) 徳和登山口(一四時四八分) 徳和バス停(一五時〇六分) 四〇分タクシー) 塩山駅(一六時三二分)

梅雨入り前の晴天狙いで計画した。今日は珍しくオヤジ五人組で行くことになり、ややがっかりかも、それでは、せめて楽をしよう?と大平牧場までタクシーで入ることにする。以前は牛舎だった建物を通じて登山口があり、タクシーを降りて道標に従い歩き始める、少し歩くと再び牧場から続く林道に出た処に立派な登山口がある、更に数回林道を横切りながら登り、道満尾根の登山道に合流する。所々に顔を出すミツバツツジやレンゲツツジに癒されながら割と楽な登りを行う。傾斜が緩くなり、明るい樹林帯を抜けると視界が開け扇平も近い、正面にこんもりと山頂が見えるが、少しガスが絡んでいる感じだ。



扇平で一息入れ核心部の登りに入る、やや急な樹林帯を行き、小さな岩場をへつりから入り右へ回り込んでハシゴを下ると、クサリ場が現れる、始めは四、五m位で傾斜もそれ程でもない、次は垂直に近い三、四m位で二本の鎖がありどちらから

でもOK、ホールド、スタンス共問題ない、視界も良くなるので濃くなり始めた新緑を眼下にして登る。やがてこの山の一番人気の山頂直下の二〇m程の垂壁になるが、予想に反して渋滞していない、我々は近道だったので、まだ時間的に少し早いのかも知れない。それでも三々五々数パーティが集まってくる。下部五、六mはクラックに沿ってクサリを掴んで牛蒡で登り、右寄りの棚上に取り付く、後は岩角を使って体を引き上げる、登り切ると山頂である、まだそれほど混んでいないので、写真を撮ってから昼食にした。視界は今ひとつで、奥秩父方面もぼんやりがスつぱく、甲武信岳の姿も隠されていた。食後、北へ黒金山への路へ入る、小さなハシゴを下り少し岩場の道を進み僅かに下ると迂回下山路の分岐に出る。(山と高原地図では水のタルとなっているが間違いで、この先の二〇一六mのピークを越えた先の鞍部が水のタルである、勿論そこから下れる) 頭の中をビールがよぎり、ここから下山路に入ることにした。樹林の急な下りを幹の赤布を拾いながら進む、人の多い山にしては道形が不明瞭で、下山路として割と最近付けられたのかも知れない。傾斜が緩むと山腹を絡む巻道になって下って行く。周囲の木々の緑が明るくなって高原ヒュッテに着く。この先で十字路となつている主登山道と合流し、右へ徳和方面に下って行く。錦晶水で喉を潤し、後は広く歩きやすい道を、森林浴をしながら下り、徳和登山口から林道をバス停まで歩き今日の行程は終わりになった。今朝ほどのタクシーをご指名で呼び塩山へ、当然のように高尾で全員下車、長時間じっくり反省をして帰宅です。今夜は反省会疲れかも・・・?

(記・涌井 良明)

